


商品そのものの良さと、観光客を意識した店づくりと演出は抜群！

10. 池田屋安兵衛商店

店舗名	池田屋安兵衛商店	【店舗外観】 
所在地	富山県富山市堤町通り 1-3-5	
業種	菓小売業・飲食業	
所属商店街名	—	

【店舗の概要】(沿革、立地、経営者、取扱商品など)

富山市の西町商店街は堤町通りに面し、周辺には大和デパート、西武、アピタといった大型店のある中心市街地である。この堤町エリアは、富山市の中心市街地活性化基本計画の中で「富山の歴史と文化を発信する観光拠点」と位置づけられている。

その堤町通り沿いにある池田屋安兵衛商店は昭和 11 年創業で、歴史ある「くすりの富山」を現在に受け継ぐ代表的な店舗の一つである。創業当時は店舗内で製造・調剤し、卸・小売を行っていたが、戦後、薬事法の制定により製造部門・卸部門は郊外へ移転させた。平成 2 年に店舗改装、さらに平成 7 年には 2 階に飲食部門を開設するとともに、観光バスを誘致するようになった。

年間 10 万人の観光客が立山アルペンルート観光とのセットで観光バスで訪れ、中心顧客層となっている。その意味で商圈は関東地方を中心に広範囲である。

そのような当店の現在を築き上げた現代表者は、当店の 3 代目である。



▲歴史を感じさせる店構え

【当店の特長】(特に優れている点)

①「くすりの富山」を代表する店舗で伝統の和漢薬を販売、観光ルートにもなる

当店の看板商品である「反魂丹」(ハンゴンタン)は「くすりの富山」の原点である。元禄3年(1690年)江戸城内で三春(福島県)の藩主が腹痛を訴えた。そこに居合わせた富山藩主前田正甫公が印籠から「反魂丹」という薬を取り出して与えたところ、痛みがたちどころにおさまった。いならぶ大名はその効き目に驚いて「ぜひ、我が藩でも販売してほしい」と願い出た。そこで正甫公は松井屋源右衛門に製薬を命じ、八重崎屋源六が行商して広く普及させたといわれている。これが富山の配置薬の原点である。以来、300年以上経った現在も全国で愛飲されている。

当店はこうした歴史ある商品を扱う店として、富山市の観光ルートにもなっている。



▲看板商品の「反魂丹」

②観光客を意識した薬や健康をPRする仕組みを上手に演出

当店は観光ルートにもなり観光客をメイン顧客としているが、観光客を意識した薬や健康をPRする仕組みを上手に演出している。

(1)なまこ壁の歴史を感じさせる店構え

(2)調剤室を見せながら、「座売り」という昔ながらの販売方法

和漢薬はお客様の症状や体力・体質に応じて調剤して販売する。そこでお客様とじっくりと向かい合って話し合い、薬剤師がカウンセリングして調合するのが「座売り」である。座売りの場は土間と上がり框となっており、相談されるお客様には上がっていただく。座売り場の奥はガラスと壁面で仕切られた調剤室になっている。



▲入口の左手が座売りの場、奥は調剤室



▲入口の右手は立売りの場

(3)昔の調剤道具の展示と丸薬作りの体験コーナー



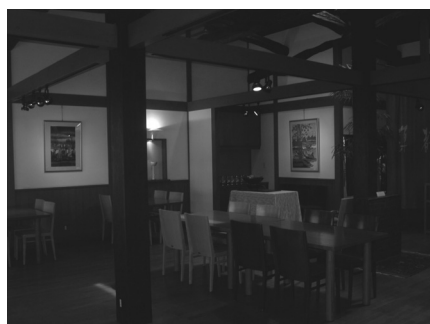
▲昔の調剤（製剤）道具



▲丸薬作りの体験ができるコーナー

(4)健康増進のための薬膳料理の提供

店舗2階では、古代米や薬草を使った当店オリジナルの薬膳料理を提供している。かつて2階は製薬工場であったが、平成7年に飲食部門に改装した。和漢薬という業種から、中高年の客層が大部分であるが、飲食部門を設けてからは、健康に関心のある若い方も増えてきたとのことである。



▲40席ある2階の飲食部門

(5)隣の店舗で「まちの駅」も経営（土産品の販売）

平成16年5月に当店の隣に「まちの駅」富山県物産館を開設した。観光客を意識した富山県の土産品の販売、休憩室の提供、まちの情報の提供などを行っている。



▲薬店の隣は「まちの駅」

こうして、観光客に「富山のくすり」の歴史や良さを体感していただくことによって、「富山のくすり」のファンを広めて配置薬の拡大につなげてゆくことができる。その意味で、当店は「富山のくすり」や健康をPRする最高の演出を行っているといえる。

【商店街事業の概要】


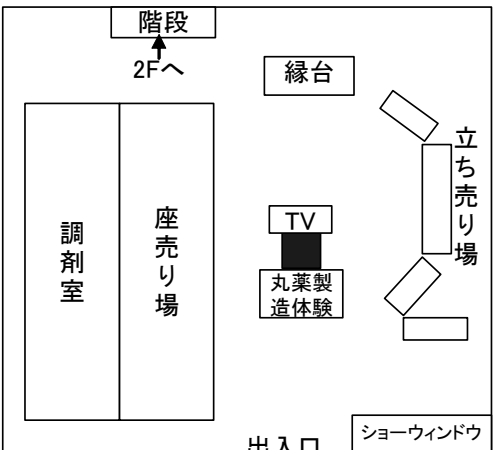
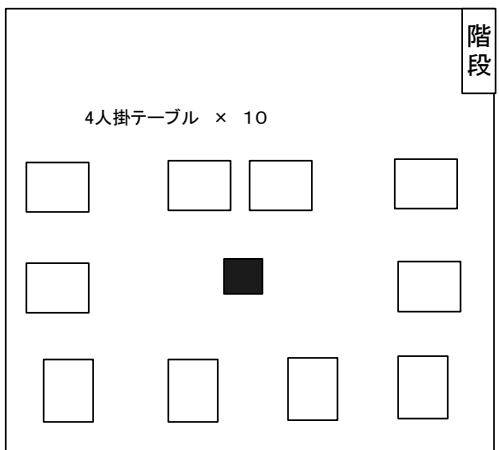
平成 15 年度に、株式会社まちづくりとやまが、西町商店街から1つ通りを隔てた中央通り商店街の空き店舗に、交流サロンと子育て支援施設を併設したコミュニティ施設「街中サロン 樹の子」を設置した。平成 16 年度は「街中サロン」において様々なイベントを実施して、まちに必要なコミュニティ機能を十分に発揮し、来街者の増に貢献している。

(詳細は 363 ページを参照。)

【商店街事業と当店との関連】

直接的な影響はないと思われるが、当店も「まちの駅」として来街者へのサービス（土産品の提供、トイレの提供、まちの情報提供等）に力を入れており、まちの魅力を高めるという意味で、相乗効果を発揮していると考えられる。

【店舗概要情報】

店舗概要				
店舗名	池田屋安兵衛商店			
所在地	富山市堤町通り1-3-5			
創業年	昭和11年			
経営者名	池田安隆	年齢		
所属商店街名				
店舗沿革	<p>現在地で創業し、薬の製造・卸・小売を店舗内で行っていた。 その後薬事法の関係で製造部門、卸部門は郊外へ移転。 平成2年に店舗改装、平成7年に2Fに飲食部門を開設するとともに、観光バスを誘致。</p>			
業種	薬小売業・飲食業	取り扱い商品・サービス		
販売方法別売上構成		商品・サービス	売上構成	
仕入販売	20 %	薬	70 %	
加工販売	%	食品(土産品)	20 %	
製造販売	70 %	飲食	10 %	
製造卸	%		%	
サービス	%		%	
その他(飲食)	10 %		%	
売場面積	1F:30坪、2F:30坪	従業者数	20人	
立地環境	<p>大通り(堤町通り)に面した西町商店街の並びにある。 周辺は大和デパート、西武、アピタといった大型店のある中心市街地である。</p>			
商圈	<p>年間10万人の観光客が立山アルペンルート観光とのセットで観光バスで訪れ、中心顧客層となっている。その意味で関東地方を中心に広範囲である。</p>			
店舗レイアウト				
【1F】		【2F】		
 <p>階段 2Fへ</p> <p>縁台</p> <p>立ち売り場</p> <p>TV</p> <p>丸薬製造体験</p> <p>出入口</p> <p>ショーウィンドウ</p> <p>調剤室</p> <p>座売り場</p>		 <p>階段</p> <p>4人掛テーブル × 10</p>		